

アジア文化研究センター
ディスカッションペーパー Vol.1

2012年6月30日発行

37ページ

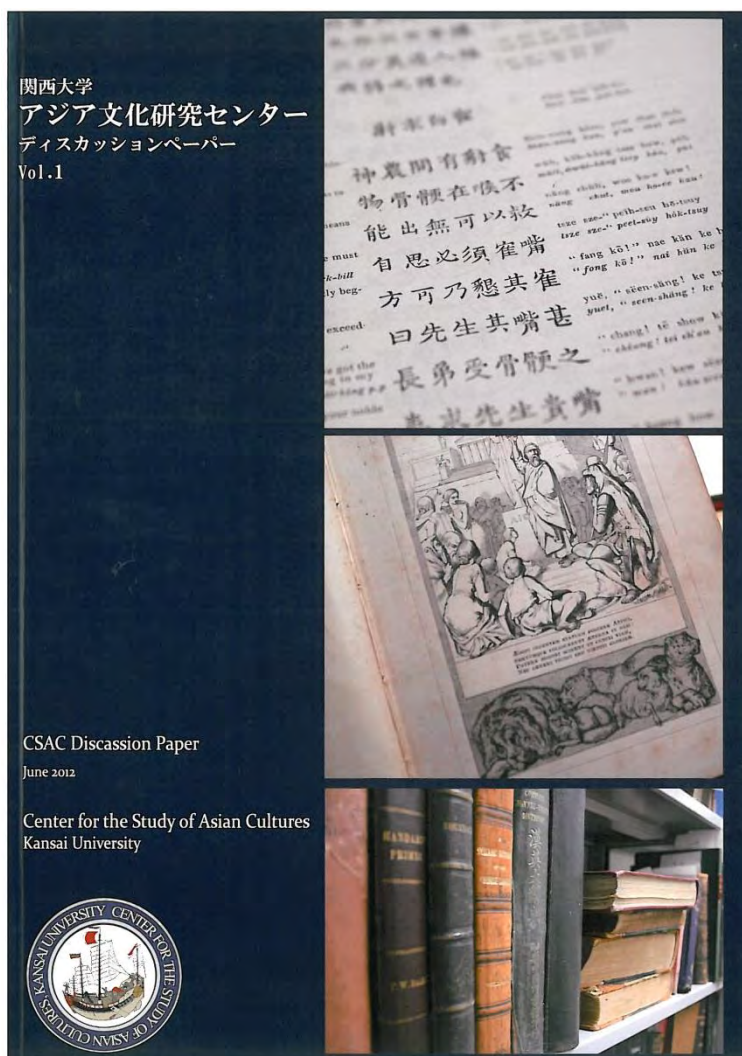
▶目次

第1回研究例会

「東アジア文化研究に求められるアーカイヴズの構築」

第2回研究例会

「近代東アジア海域の汽船航運に関する航運データ」



アジア文化研究センター
ディスカッションペーパー Vol.2
2012年7月31日発行
44ページ

▶目次

第4回研究例会

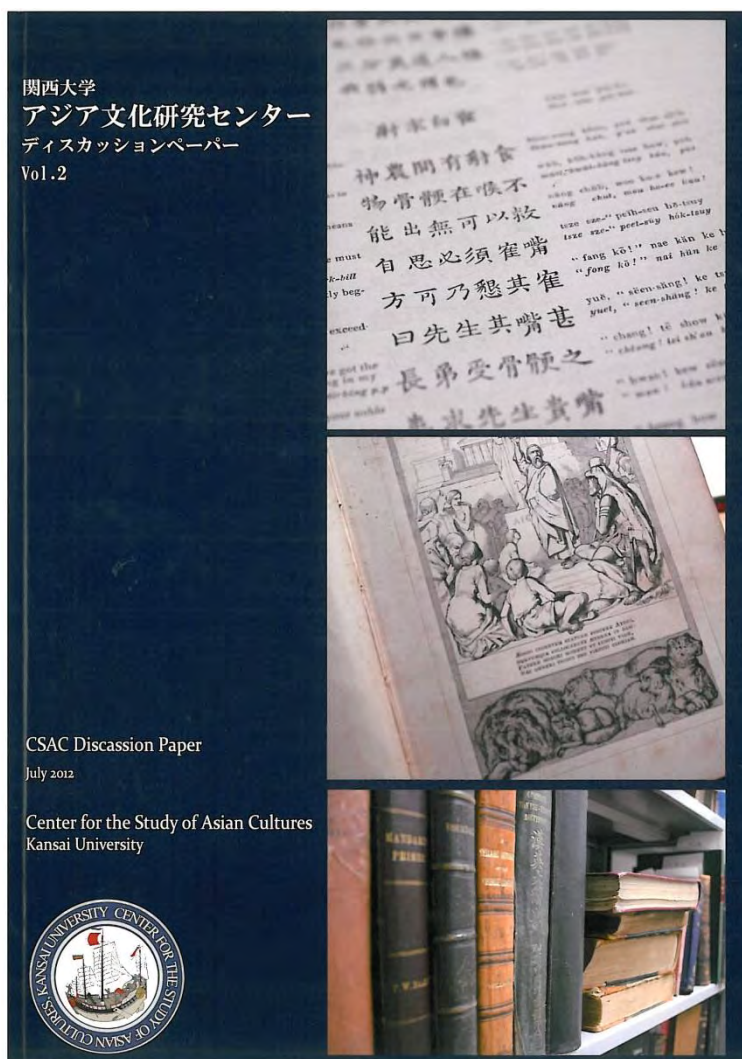
「スペイン国内に残る漢籍－調査の現状とアーカイブス化への展望－」

「GIS とその利用－デジタルアーカイブス化に向けて－」

第7回研究例会

「中国石刻資料のアーカイブス構築に向けて－その現状と課題－」

「中国における映画興行関連データベースの構築とその映画史研究的意義」



アジア文化研究センター
ディスカッションペーパー Vol.3
2012年9月15日発行
84ページ

▶目次

第8回研究例会

「1846年1-6月福州港出入の中国帆船のデータベース」

「日本の中国語資料研究のためのアーカイブズ構築に向けてー語史・文化史的アプローチ」

第9回研究例会

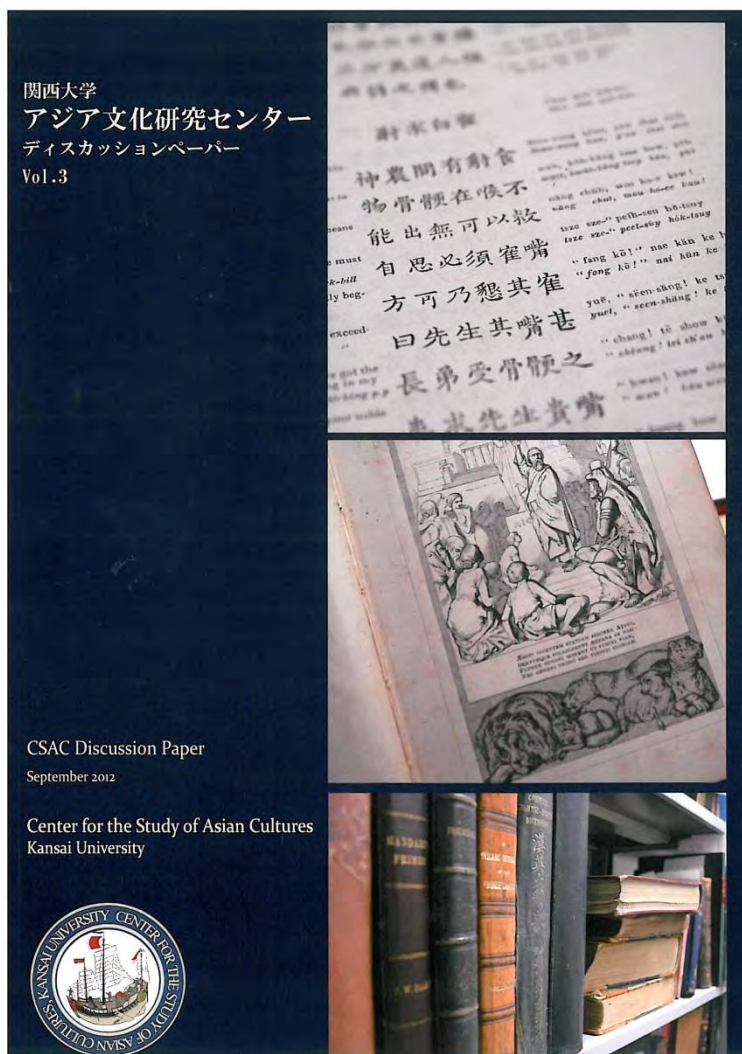
「CSAC アーカイヴズについて」

第10回研究例会

「中国福建省における紀行録データベースの構築ー福建省歴史データベースにむけての基礎的検討ー」

第11回研究例会

「日本における歴史GIS研究の現状と課題」



アジア文化研究センター
ディスカッションペーパー Vol.4

2012年12月31日発行

40ページ

▶目次

第3回研究例会

「近代域外漢語研究文献資料アーカイブズの過去・現在・未来」

第6回研究例会

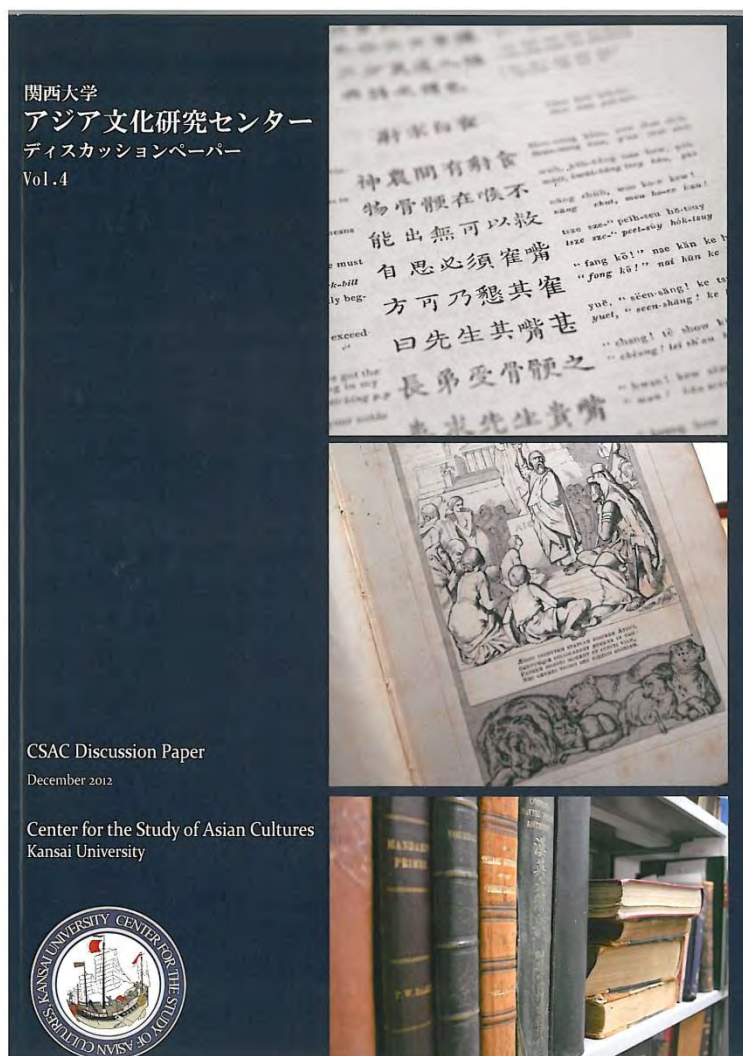
「美術作品とアーカイブズ化－美術史研究を踏まえて」

第8回研究例会

「幼学書・往来物の新視点とアーカイブズ化」

第14回研究例会

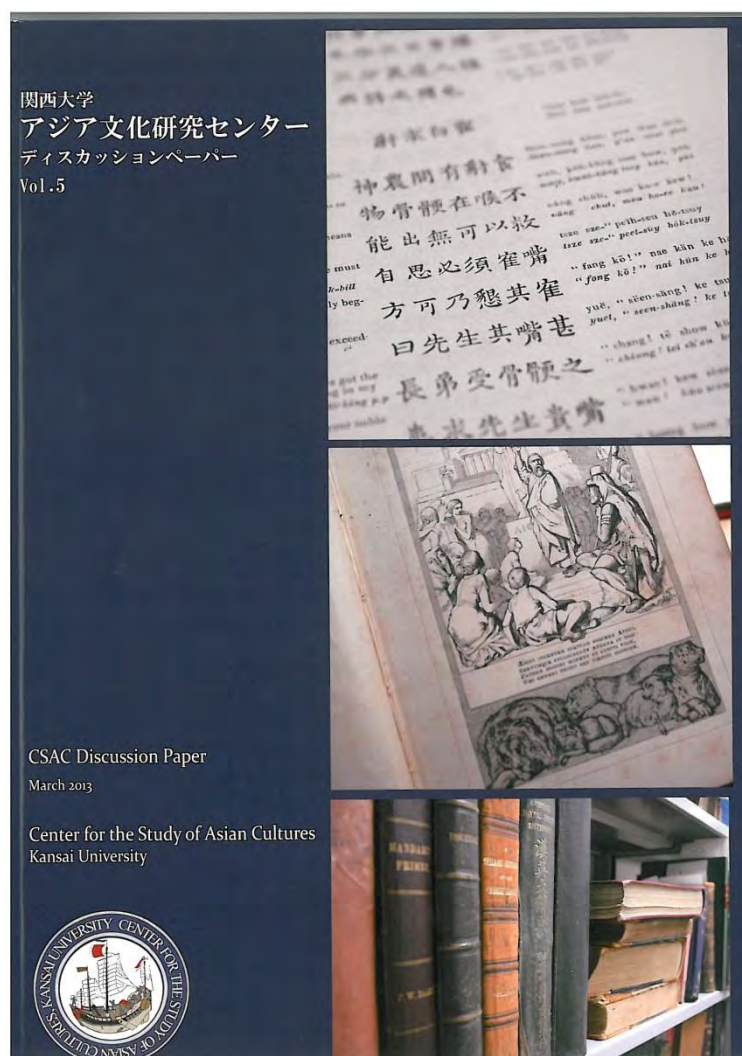
「東南アジア大陸部の中世交易ネットワーク-GISによるマッピングデータベース構築－」



アジア文化研究センター
ディスカッションペーパー Vol.5
2013年3月8日発行
88ページ

▶目次

- 第2回研究集会「アーカイヴズと知の再構築」 日時：2012年11月22日～23日
- 「關於中國文化海外傳播動態數據庫：以漢學研究特色庫為中心」
 - 「研究型數據庫與觀念史數位人文研究」
 - 「為了近代西洋人漢語研究文獻數據庫的構築以各種文獻書目（目錄）的整理為主」
 - 「耳鳥齋のアーカイヴズ化」
 - 「數位浪潮下的人文研究：以中央研究院歷史語言研究所的數位典藏工作為例」
 - 「中研院史語所漢籍電子文獻資料庫的建置：從文字校正到文籍考訂」
 - 「近代東アジア海域の物流の一拠点：下関一『馬關物価日報』を中心に一」
 - 「近代觀念史研究與語料庫：以近代關鍵詞“野蠻”為例」
 - 「関西大学蔵非典籍文字資料の整理と公開一内藤文庫「漢封泥」を例に一」



アジア文化研究センター
ディスカッションペーパー Vol.6
2013年3月25日発行
47ページ

▶目次

第3回研究例会

「日本における中世古文書研究とアーカイブズ」

第5回研究例会

「文化継承のための「文化交渉」－「大正癸丑蘭亭会百周年記念行事」準備について－」

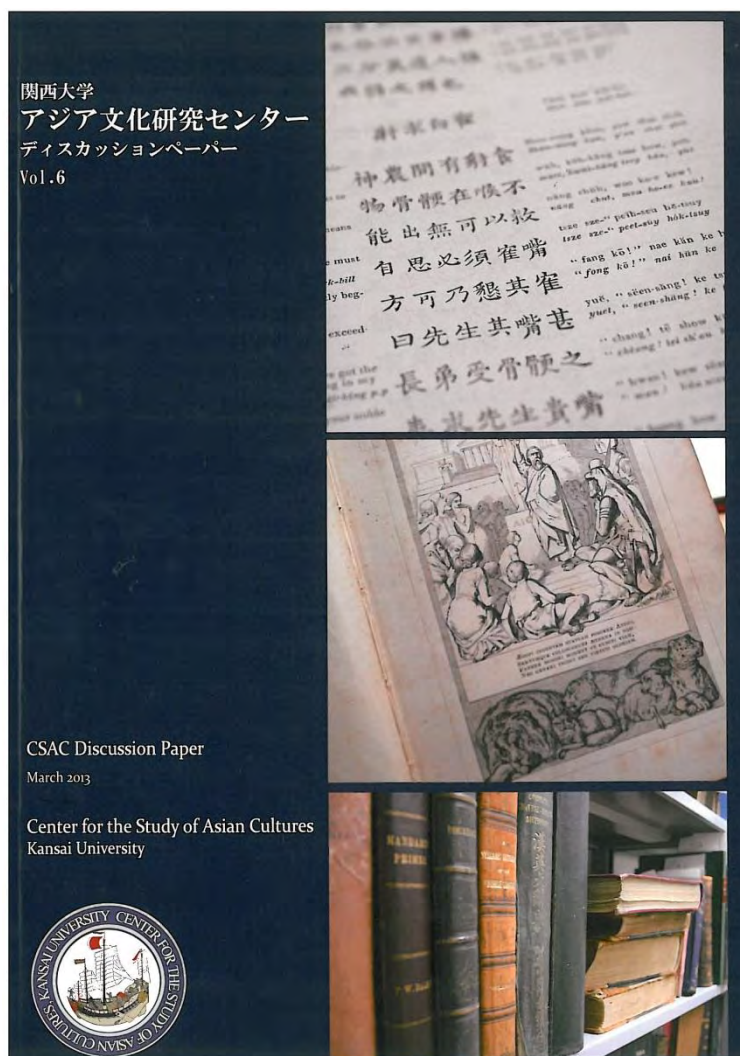
第12回研究例会

「内藤湖南的唐代文献研究簡介」

第15回研究例会

「ベトナム・フエにおけるGISの現状とICIS収集資料のデータベース化への課題」

「ベトナムにおけるGISとデータベースの現状－その発展と現代の課題－」



アジア文化研究センター
ディスカッションペーパー Vol.7
2013年9月30日発行
57ページ

▶目次

第17回研究例会

「唐代楽府学概述」

第18回研究例会

「スペイン図書館所蔵の中国古書」

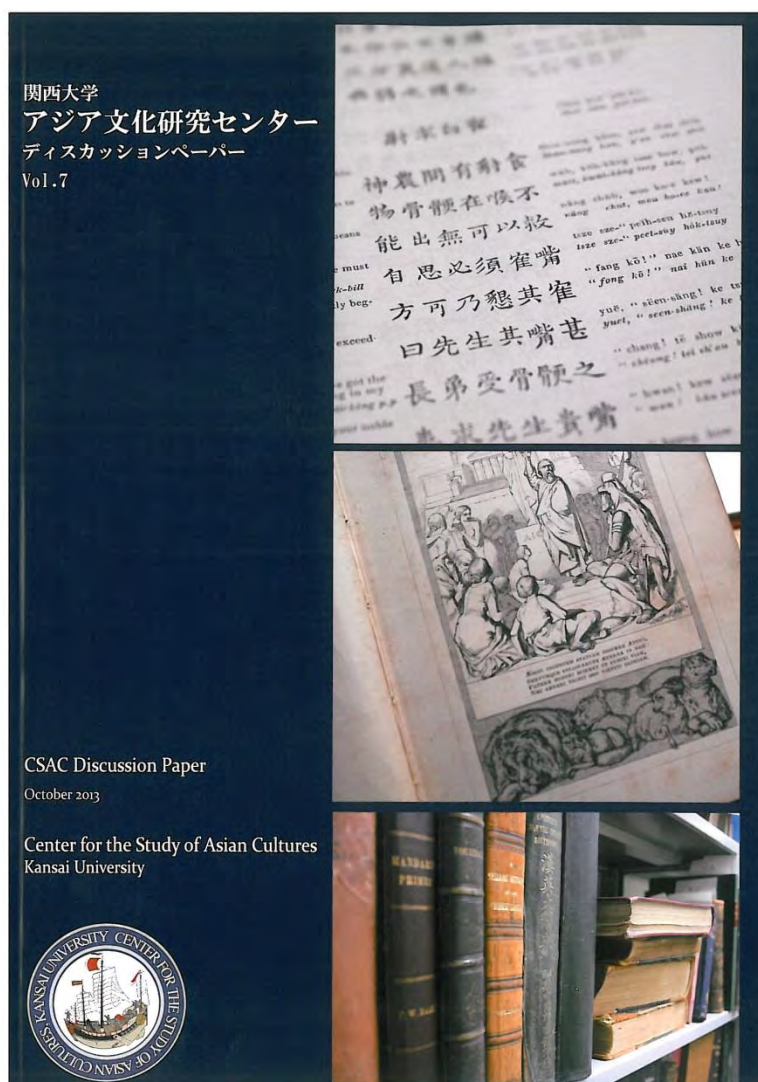
第20回研究例会

「CSAC アーカイヴズー文献・寺廟・石碑データベースの基礎構築」

第22回研究例会

「フェデータベースの概要」

「ベトナム・フエの古墓追加資料について」



アジア文化研究センター
ディスカッションペーパー Vol.8
2014年3月31日発行
44 ページ

▶目次

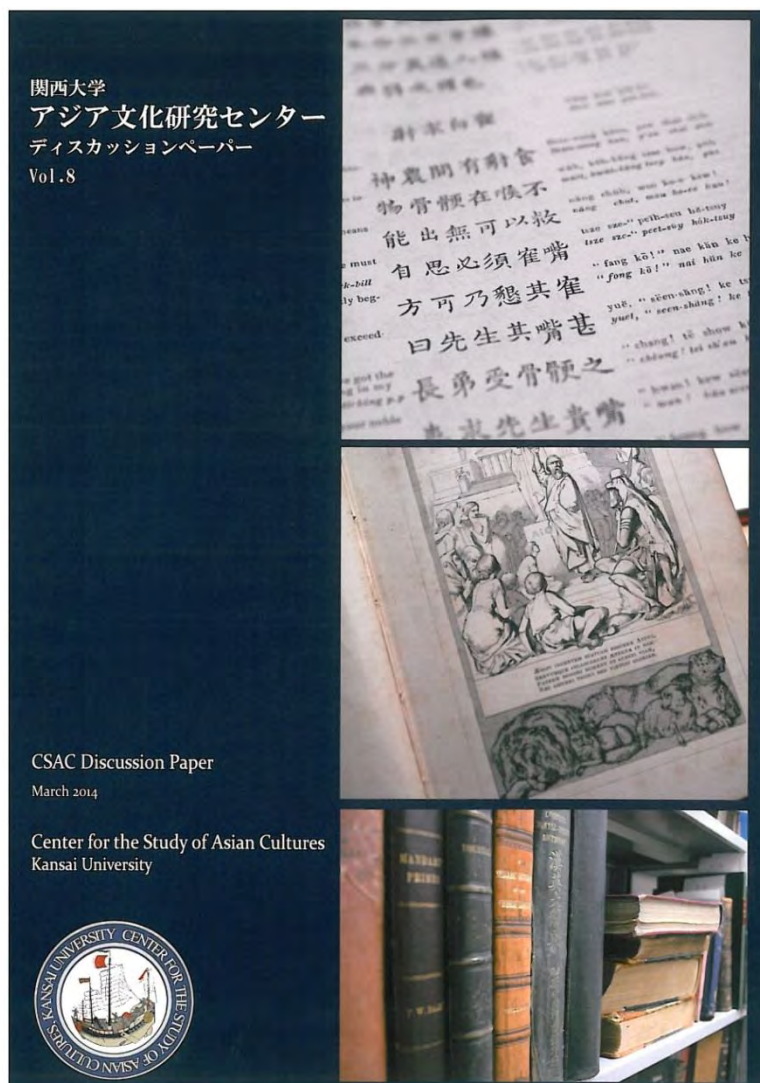
第24回研究例会

「廣瀬本万葉集概説の序にかえて」

「廣瀬本万葉集はいかなる本か」

巻末附属論文

「片仮名訓本系統の長歌訓の誕生」



アジア文化研究センター
ディスカッションペーパー Vol.9
2015年2月28日発行
46ページ

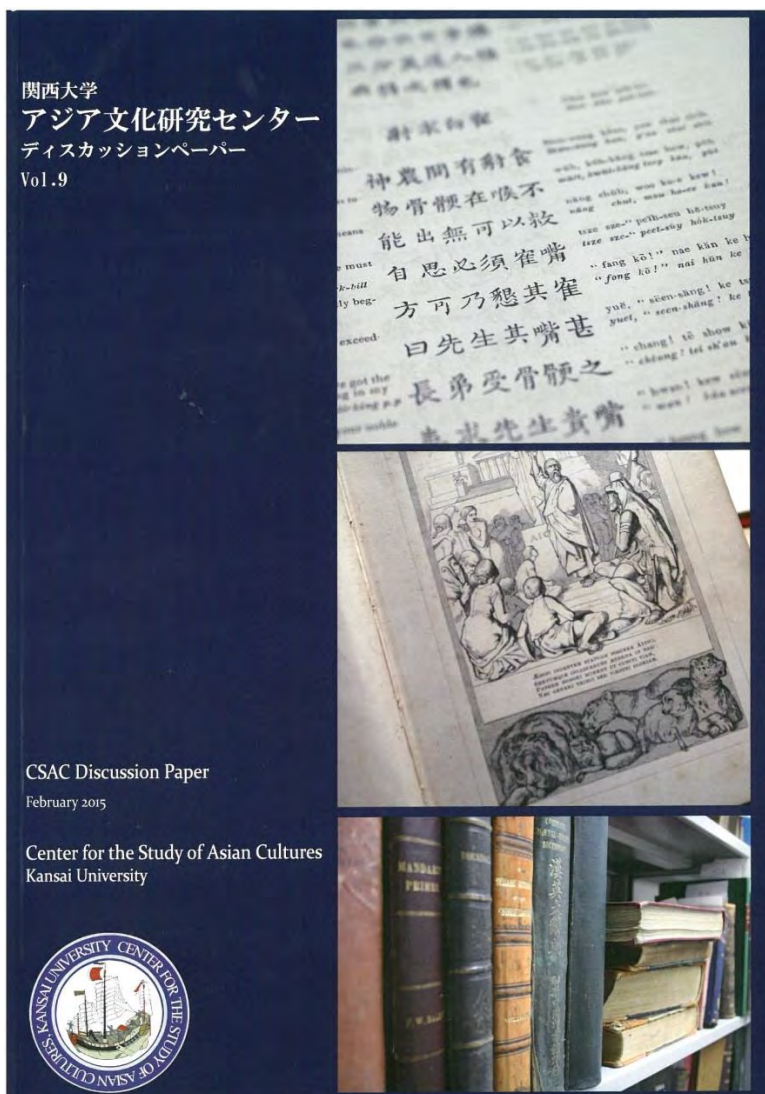
▶目次

第27回研究例会

- 「14世紀日本における密教寺院に地位形成過程—醍醐寺三宝院を中心に—」
- 「寺廟データベースの展望と課題」
- 「孫了紅「傀儡劇」から「木偶的戯劇」へ」

第28回研究例会

- 「中国古代簡牘の実見調査と簡牘データベース」
- 「琉球の集落形成の過程をいかに読み解くか」
- 「CSAC Digital Archives の構築—その体制と現状」



アジア文化研究センター
ディスカッションペーパー Vol.10
2015年3月31日発行
71ページ

▶目次

第30回研究例会

「契沖の志向－『古今余材抄』をてがかりに－」

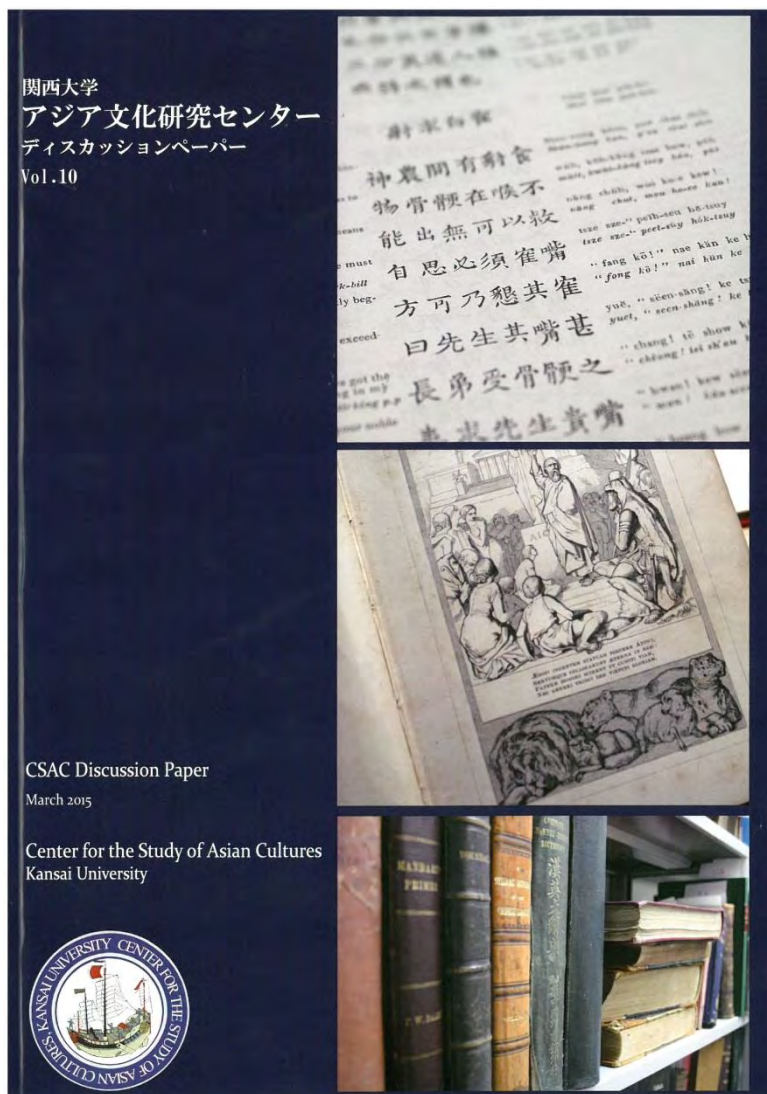
「関西大学蔵契沖関係書あれこれ」

第31回研究例会

「泊園文庫の整理－印章と日記について」

第33回研究例会

「阿波國共同汽船会社の中国東北沿海航運」



アジア文化研究センター
ディスカッションペーパー Vol.11
2015年8月31日発行
54 ページ

▶目次

第33回研究例会

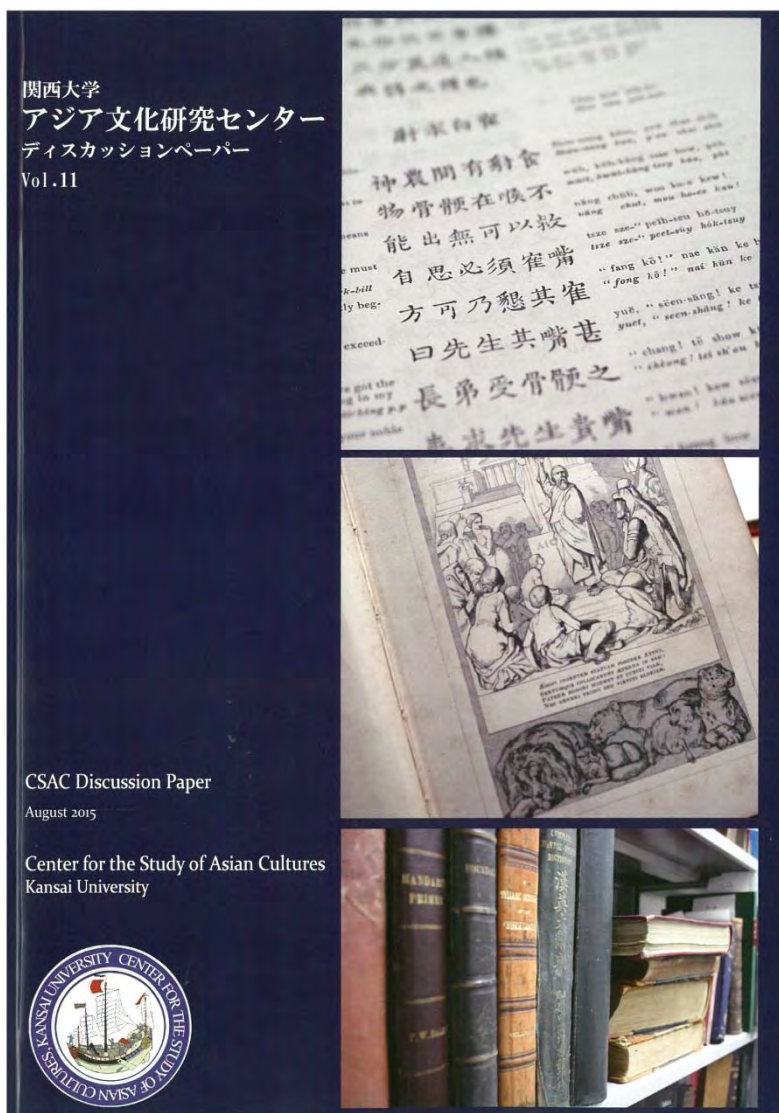
「耳鳥齋アーカイヴズ—新資料十件をめぐって—」

第34回研究例会

「『小野篁歌字尽』とその周辺」

「漢字的字義及其獲得」

「近世初期俳諧の漢語の一側面」



アジア文化研究センター
ディスカッションペーパー Vol.12
2016年2月20日発行
65ページ

▶目次

第36回研究例会

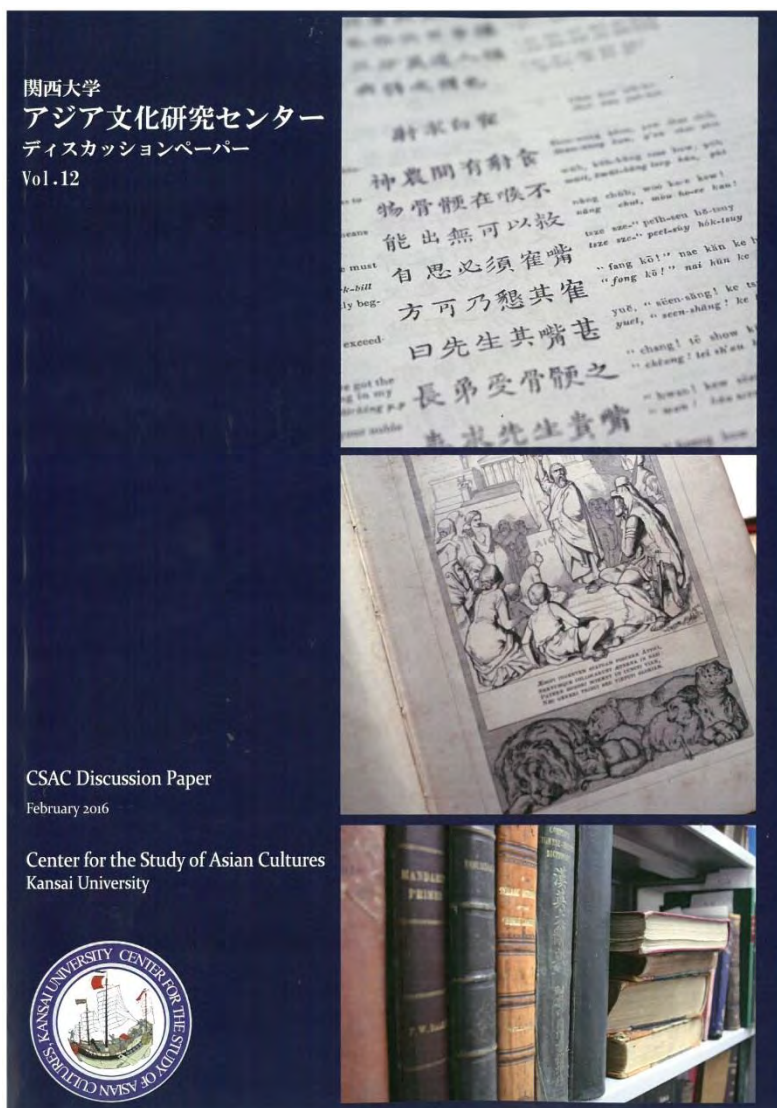
「アーカイヴズとしての航路案内」

「日清汽船会社のアーカイヴズ」

第37回研究例会

「東洋汽船のサンフランシスコ航路」

「東洋汽船の映画ビジネス」



アジア文化研究センター
ディスカッションペーパー Vol.13

2016年2月29日発行

60ページ

▶目次

第32回研究例会

「関西大学所蔵古文書・古記録データベース作成にむけて」

「関西大学図書館所蔵日本史関係史料とデータベース」

「関西大学図書館所蔵文禄・慶長の役関係史料について」

第35回研究例会

「唐代契丹人墓誌に関する一考察—遼寧省朝陽市博物館 所蔵新出墓誌の紹介を兼ねて—」

「6世紀の新羅の教と法—律令肯定論と関連して—」

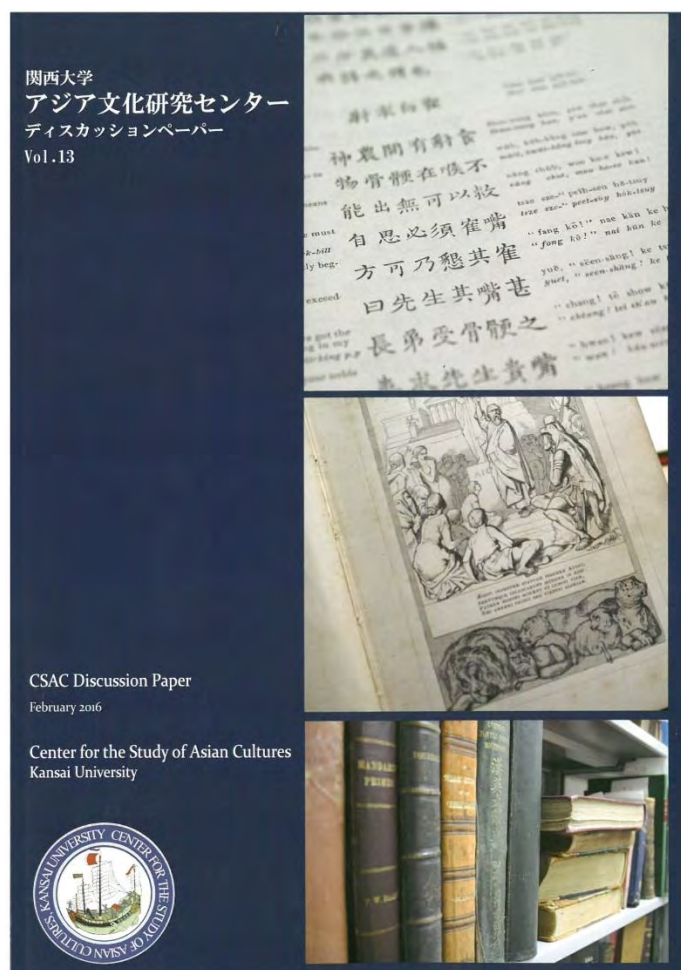
「中国北部に移住したソグド人の葬具について：欧米の博物館が分蔵する石棺床圍屏のCGによる復元」

第38回研究例会

「Finding Japan-related Archives in Springfield:

A Journey to the Mecca of Lincoln Studies」

「思想としての中国学？ 知又識としての中国学？—1940年代初期竹内好と吉川幸次郎の論争をめぐる—」



アジア文化研究センター
ディスカッションペーパー Vol.14

2016年3月15日発行

89ページ

▶目次

第2回国際シンポジウム「東アジア文献資料アーカイブスの現状と国際ネットワーク」

日時：2015年10月24日～25日

「伯克利加州大学傳蘭雅特藏和趙元任档案的整理与数字化工作」

「梵蒂岡圖書館藏遠東亞洲国家古籍写本文献及其電子化現状」

「關西大學亞州文化研究中心的數據庫的現状和未来」

「《浪速及澱川沿岸名勝図巻》と《平家物語絵巻》のデジタル化について」

「中央研究院近代史研究所 MHDB 総合資料庫システム」

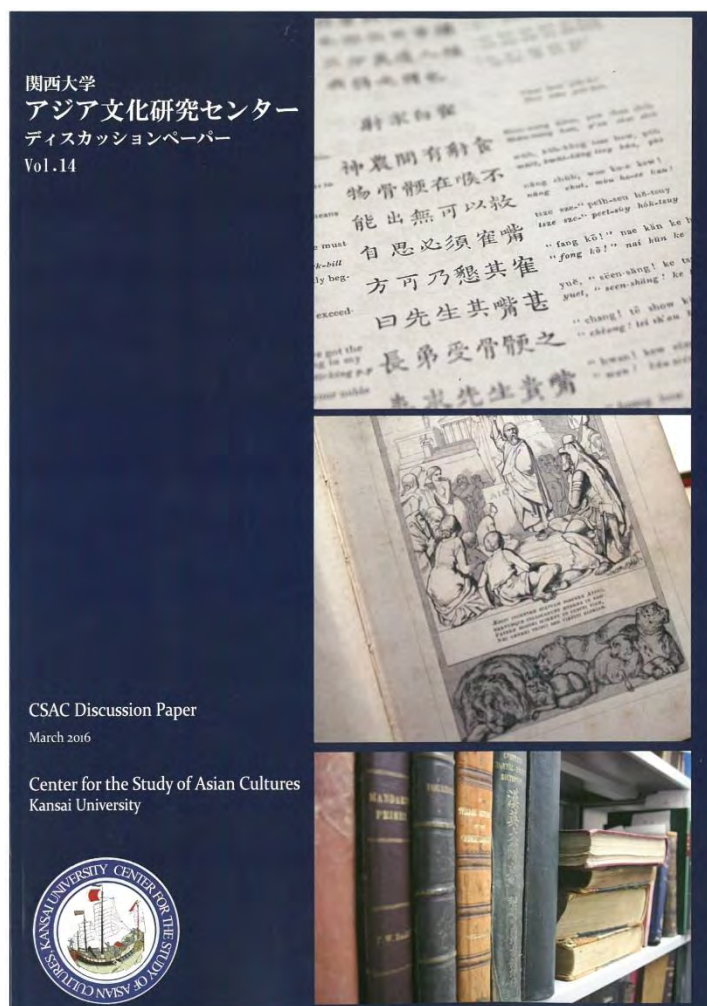
「英華字典資料庫的設計與應用」

「中国におけるソグド人墓の発見とソグド石棺牀の復元」

CSAC 研究活動一覧

ディスカッションペーパー収録論文一覧

アジア文化研究センター研究員一覧



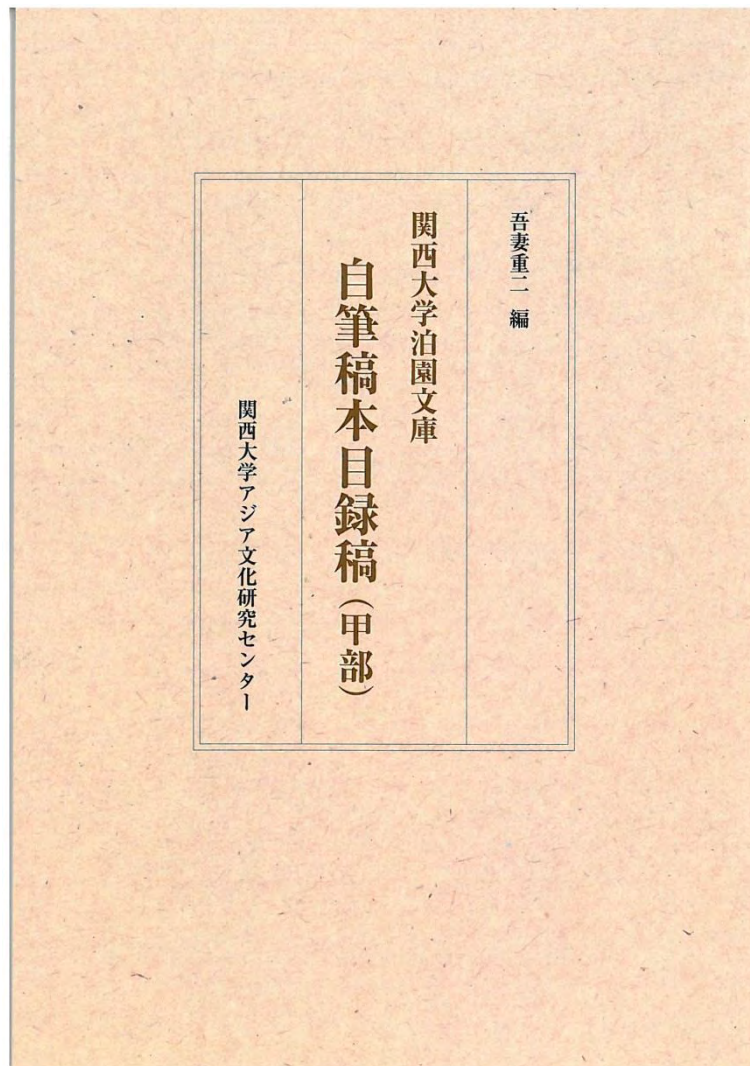
関西大学泊園文庫

自筆稿本目録稿（甲部）

吾妻重二編

2012年3月31日発行

35ページ

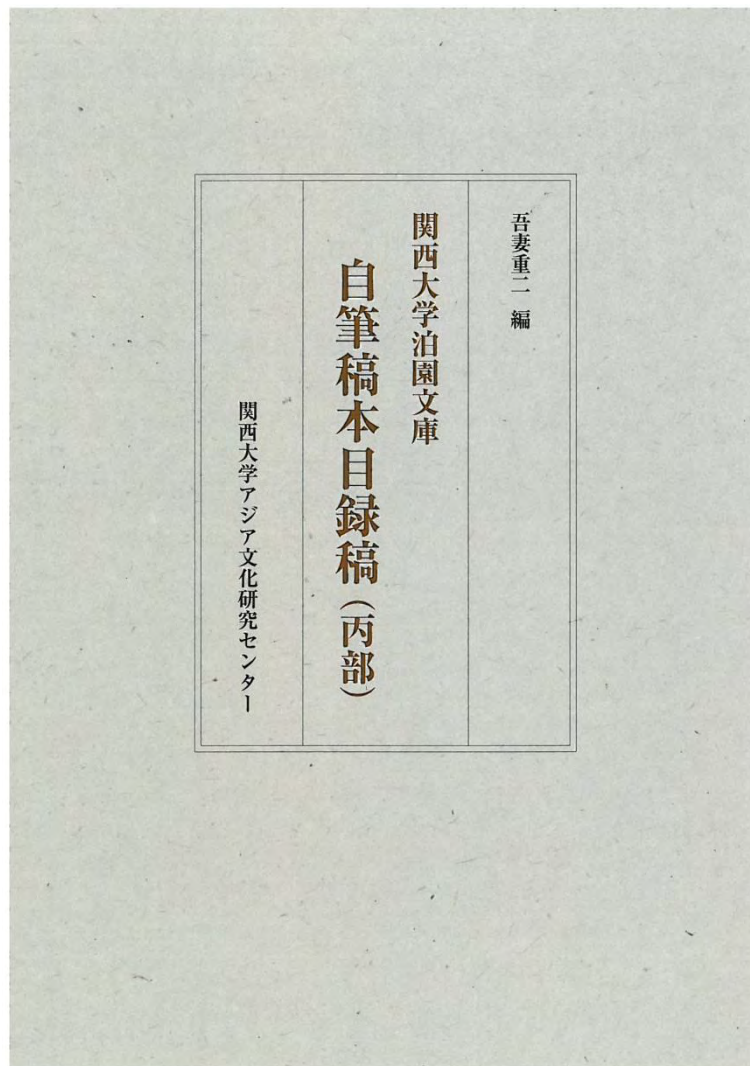


関西大学泊園文庫

自筆稿本目録稿（丙部） 吾妻重二編

2013年3月30日発行

34ページ



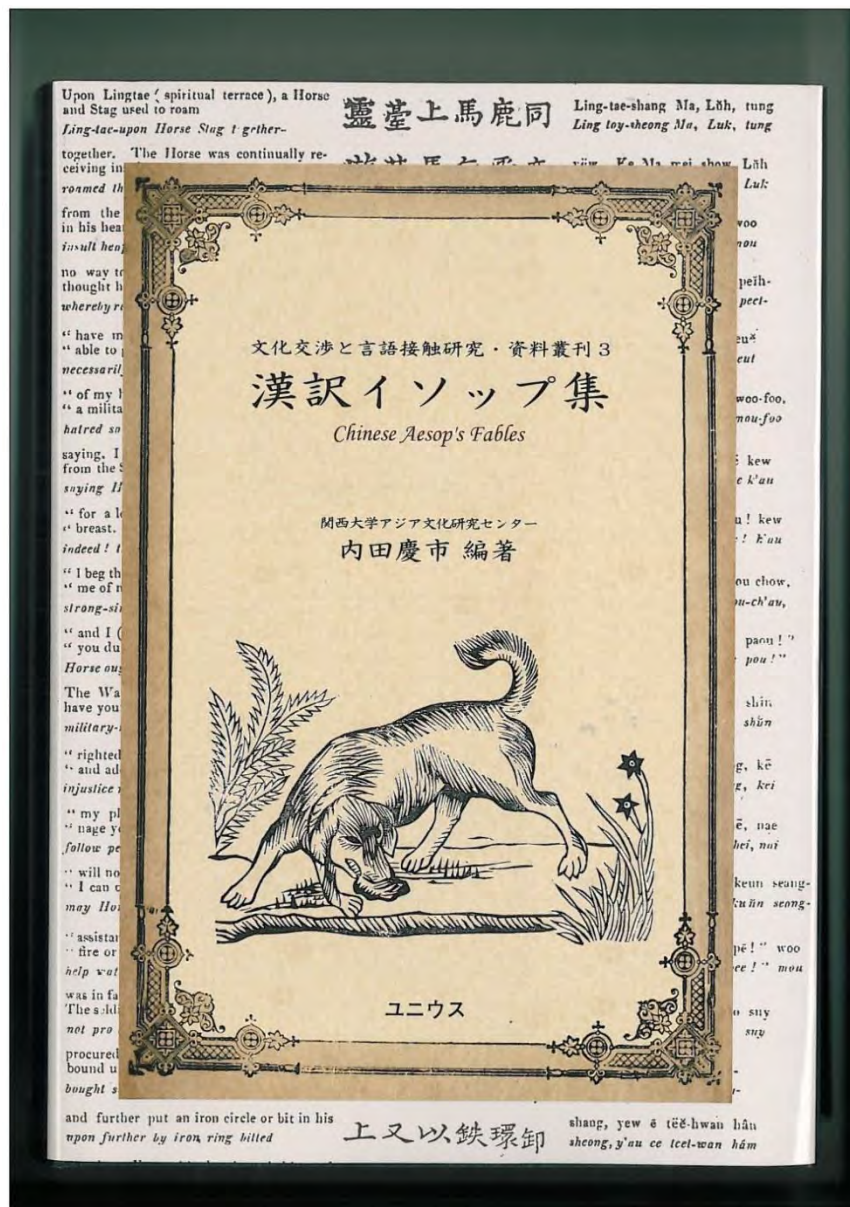
文化交渉と言語接触研究・資料叢刊 3

漢訳イソップ集

内田 慶市 編著

2014年2月28日発行

607 ページ



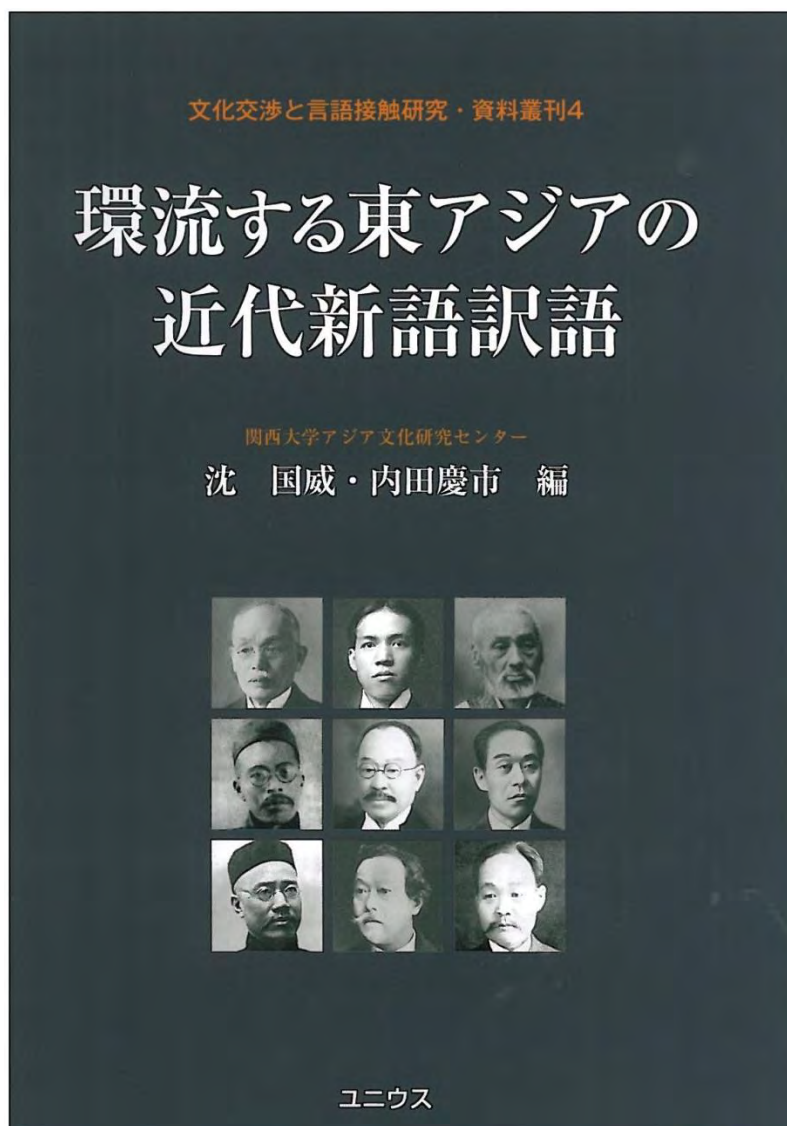
文化交渉と言語接触研究・資料叢刊 4

環流する東アジアの近代新語訳語

沈 国威・内田 慶市 編

2014年7月1日発行

338 ページ



近代日本の中国・台湾汽船「航路案内」

—船舶データベースの一端—

松浦 章 著

2015年2月4日発行

231 ページ



文化交渉と言語接触研究・資料叢刊 4

語言自邇集の研究

内田 慶市・氷野 歩・宋 桔 編著

2015年2月28日発行

1,007 ページ



北太平洋航路案内のアーカイヴズ

—船舶データベースの一端—

松浦 章 著

2015年6月1日発行

328 ページ



文化交渉と言語接触研究・資料叢刊 7

官話指南の書誌的研究

付影印・語彙索引

内田 慶市・氷野 善寛 編著

2016年3月15日発行

725 ページ



関西大学アジア文化研究センター運営内規

制定 平成23年7月20日

(趣 旨)

第1条 この内規は、関西大学東西学術研究所（以下「研究所」という。）規程第3条の2の規定に基づき、平成23年度文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の選定を受けた「東アジア文化資料のアーカイヴズ構築と活用の研究拠点形成」（以下「研究プロジェクト」という。）を推進する研究組織「関西大学アジア文化研究センター」（以下「センター」という。）の運営に関して必要な事項を定める。

(目 的)

第2条 センターは、東アジア文化研究のための学術リソースをアーカイヴズ化し、その活用法を研究することを目的とする。

(事 業)

第3条 センターは、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 研究プロジェクトの学術研究及び調査
- (2) 研究調査に必要な図書及び資料の収集整理
- (3) 学術研究に関する研究成果の発表
- (4) シンポジウム及び講演会の開催
- (5) その他センターが必要と認める事業

(構 成)

第4条 センターに次の職員を置く。

- (1) センター長 1名
- (2) 副センター長 2名
- (3) 研究員 約30名

2 センターに若干名の特別任用研究員、ポスト・ドクトラル・フェロー及びリサーチ・アシスタントを置くことができる。

3 センターに若干名の客員研究員を置くことができる。

4 センターに若干名の非常勤研究員を置くことができる。

(センター長及び副センター長)

第5条 センター長は、センターを代表し、その業務を統括する。

2 センター長は、研究プロジェクトの研究代表者をもって充てる。

3 副センター長は、センター長を補佐し、必要に応じて、その職務を代行する。

4 副センター長は、本学専任教育職員の研究員のうちから、センター運営委員会の議を経て選出し、センター長が任命する。

5 センター長及び副センター長の任期は研究プロジェクトの実施期間とする。

(研究員)

第6条 研究員は、研究プロジェクトの実施計画に基づき、研究活動に従事する。

2 研究員は、研究プロジェクトの構想調書に記載された研究者をもって充てる。

3 研究員を補充する場合は、大学等の研究機関に所属する研究者又はそれに相当する研究実績を有すると認められる研究者のうちから、センター運営委員会の議を経て選出し、センター長が任命する。

4 研究員の任期は研究プロジェクトの実施期間とする。

(特別任用研究員、ポスト・ドクトラル・フェロー及びリサーチ・アシスタント)

第7条 特別任用研究員、ポスト・ドクトラル・フェロー及びリサーチ・アシスタントの取扱いは、関西大学特別任用研究員に関する取扱要領、関西大学ポスト・ドクトラル・フェローに関する取扱要領及び関西大学リサーチ・アシスタントに関する取扱要領に基づく。

(客員研究員)

第8条 客員研究員は、大学等の研究機関に所属する研究者又はそれに相当する研究実績を有すると認められる研究者のうちから、センター運営委員会の議を経て選出し、センター長が委嘱する。

2 客員研究員は、第3条に規定する事業を推進するにあたり、必要に応じて協力する。

3 客員研究員の任期は年度末までとする。ただし、本人及びセンターが希望する場合には更新できるものとする。

(非常勤研究員)

第9条 非常勤研究員は、前条に規定する客員研究員以外で、センターの研究活動に関連する研究実績を有する研究者のうちから、センター運営委員会の議を経て選出し、センター長が委嘱する。

2 非常勤研究員は、第3条に規定する事業を推進するにあたり、必要に応じて協力する。

3 非常勤研究員の任期は年度末までとする。ただし、本人及びセンターが希望する場合には更新できるものとする。

(訪問研究員の受入れ)

第10条 国内外の教育・研究機関の研究者(大学院生を含む。)で、センターにおいて研究を志望する者を、センター運営委員会の議を経て、訪問研究員として受入れることができる。

(センター運営委員会)

第11条 センターにセンター運営委員会を置く。

2 センター運営委員会は、センター長、本学専任教育職員の研究員、研究所長及び研究所事務グループ長で構成する。

3 委員長は、センター長をもって充てる。

4 委員長は、必要に応じてセンターに所属する学外の研究員の出席を求めることができる。

第12条 センター運営委員会は、委員長が招集し、議長となる。

2 センター運営委員会は、次の事項を審議決定する。

(1) センターの運営に関する事項

(2) 第3条各号に掲げる事業に関する事項

(3) 研究設備等の運用と管理に関する事項

(4) センターの人事に関する事項

(5) センターの自己点検・評価及び外部評価に関する事項

3 センター運営委員会は、前条第2項に規定する委員の過半数の出席をもって成立し、議事は出席者の過半数をもって決する。

4 センターの運営を円滑に進めるため、センター運営委員会の下にセンター小委員会を置く。

5 センター小委員会は、センター長、副センター長、センター長が指名する若干の研究員及び研究所事務グループ長で構成する。

(事務)

第13条 センターに関する事務は、研究所事務グループが行う。

(内規の改廃)

第14条 この内規の改廃は、センター運営委員会の議を経て、研究所の運営委員会の承認を得るものとする。

附 則

この内規は、平成23年7月20日から施行し、平成23年4月1日から適用する。

附 則

この内規(改正)は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この内規(改正)は、平成26年7月30日から施行し、平成26年7月4日から適用する。

関西大学アジア文化研究センター

外部評価委員一覧

(敬称略、平成 25 年 6 月 1 日現在)

氏 名	役 職・選 定 理 由
湯浅 邦弘	<p>【役職】 大阪大学大学院・教授</p> <p>【選定理由】</p> <p>湯浅邦弘氏は、泊園書院と並んで、江戸時代の大坂を代表する学問塾であった懐徳堂を研究する懐徳堂記念会の中心メンバーであり、WEB 懐徳堂の構築・運営など、漢学塾の学術リソースの整理と公開に卓越した実績を有しており、本プロジェクトの典籍アーカイヴズと泊園研究に専門的アドバイスを与えられる人物であるため。</p>
柴山 守	<p>【役職】 京都大学・特任教授</p> <p>【選定理由】</p> <p>柴山守氏は、もともとは情報系の出身で、人文学研究に資するデータベースの構築にその草創期から主導的役割を果たしてきた。近年では、東南アジアでの実地調査を踏まえた GIS の制作に深く関わっており、本プロジェクトでも、地理的情報とリンクしたアーカイヴズ構築を俯瞰的にアドバイスできる人物であるため。</p>
高田 時雄	<p>【役職】 京都大学・教授</p> <p>【選定理由】</p> <p>高田時雄氏は、言語学・書誌学の日本を代表する研究者で、敦煌文書をはじめ、世界各地の図書館・文書館に所蔵される学術資料に通暁しており、本プロジェクトにおける分散資料群の収集に対して、有益なアドバイスを与えると同時に、海外機関との連携に必要なファーストコンタクトを担える人物であるため。</p>

外部資金獲得状況

【科研費】

年度	氏名	種別	課題	合計額 (千円)
23	吾妻 重二	科学研究費補助金基盤研究(A)	東アジアにおける伝統教養の形成と展開に関する学際的研究:書院・私塾教育を中心に	9,100
23	野間 晴雄	科学研究費補助金基盤研究(A)	環東シナ海・環日本海沿岸域の文化交渉と歴史生態をめぐる学術的研究	10,140
23	二階堂 善弘	科学研究費補助金基盤研究(B)	情報化時代における中国学次世代研究基盤の確立	5,850
23	森部 豊	科学研究費補助金基盤研究(B)	ソグド人の東方活動に関する基礎的研究	3,770
23	中谷 伸生	科学研究費補助金基盤研究(C)	耳鳥齋と江戸時代の戯画ー漫画・アニメーションの源流	910
23	西本 昌弘	科学研究費補助金基盤研究(C)	『新撰年中行事』の基礎的研究ー東アジアにおける年中行事・歳時記の受容と変容ー	1,560
23	乾 善彦	科学研究費補助金基盤研究(C)	仮名成立史から見る万葉集仮名書歌卷の孤立性と平仮名への連続性の研究	1,170
23	沈 国威	科学研究費補助金基盤研究(C)	中国語の近代「国語」への進化に関する総合的研究:欧化文法と日本語の影響を中心に	1,040
23	長谷部 剛	科学研究費補助金若手研究(B)	『宋本杜工部集』を中心とした杜甫詩文集の書誌学的研究	130
23	菅原 慶乃	科学研究費補助金若手研究(B)	学際的アプローチによる中国ー欧米間映画関係史構築に関する研究	910
23	野間 晴雄	科学研究費補助金挑戦的萌芽研究	英国人プラントハンターの探査と商業主義の相克ー植物をめぐる文化交渉学の構築ー	1,040
24	吾妻 重二	科学研究費補助金基盤研究(A)	東アジアにおける伝統教養の形成と展開に関する学際的研究:書院・私塾教育を中心に	6,110
24	野間 晴雄	科学研究費補助金基盤研究(A)	環東シナ海・環日本海沿岸域の文化交渉と歴史生態をめぐる学術的研究	8,580
24	長谷部 剛	科学研究費補助金基盤研究(B)	隋唐楽府文学の総合的研究	5,720
24	二階堂善弘	科学研究費補助金基盤研究(B)	情報化時代における中国学次世代研究基盤の確立	4,290
24	森部 豊	科学研究費補助金基盤研究(B)	ソグド人の東方活動に関する基礎的研究	2,730
24	竹内 洋 (客員研究員)	科学研究費補助金基盤研究(B)	日本型公共知識人の成立と変容	1,690
24	中谷 伸生	科学研究費補助金基盤研究(C)	耳鳥齋の戯画と近代漫画の比較研究ーアニメーションの源流としての江戸時代の戯画ー	1,820
24	西本 昌弘	科学研究費補助金基盤研究(C)	『新撰年中行事』の基礎的研究ー東アジアにおける年中行事・歳時記の受容と変容ー	1,300
24	乾 善彦	科学研究費補助金基盤研究(C)	表記体と文体からみた変体漢文と和漢混淆文との連続性の研究	1,040
24	沈 国威	科学研究費補助金基盤研究(C)	中国語の近代「国語」への進化に関する総合的研究:欧化文法と日本語の影響を中心に	1,040
24	菅原 慶乃	科学研究費補助金若手研究(B)	学際的アプローチによる中国ー欧米間映画関係史構築に関する研究	780
24	氷野善寛(PD)	科学研究費補助金若手研究(B)	通時的中国語基盤語彙データベースの構築と語彙教育に関する研究	1,690
24	野間 晴雄	科学研究費補助金挑戦的萌芽研究	英国人プラントハンターの探査と商業主義の相克ー植物をめぐる文化交渉学の構築ー	1,170

年度	氏名	種別	課題	合計額 (千円)
24	森部 豊	科学研究費補助金挑戦的萌芽研究	「農業・牧畜境界地帯」から構築する新しいユーラシア史像の試み	1,430
24	毛利英介 (非常勤研究員)	科学研究費補助金研究活動スタート支援	石刻史料による遼代漢人徒民の研究	1,560
25	野間 晴雄	科学研究費補助金基盤研究(A)	環東シナ海・環日本海沿岸域の文化交渉と歴史生態をめぐる学術的研究	8,320
25	長谷部 剛	科学研究費補助金基盤研究(B)	隋唐楽府文学の総合的研究	5,070
25	二階堂 善弘	科学研究費補助金基盤研究(B)	情報化時代における中国学次世代研究基盤の確立	3,510
25	竹内 洋 (客員研究員)	科学研究費補助金基盤研究(B)	日本型公共知識人の成立と変容	1,430
25	桑野 梓 (非常勤研究員)	科学研究費補助金若手研究(B)	近世彫刻史における黄檗彫刻と中国明末清初彫刻の研究	1,690
25	中谷 伸生	科学研究費補助金基盤研究(C)	耳鳥齋の戯画と近代漫画の比較研究ーアニメーションの源流としての江戸時代の戯画ー	1,430
25	西本 昌弘	科学研究費補助金基盤研究(C)	『新撰年中行事』の基礎的研究ー東アジアにおける年中行事・歳時記の受容と変容ー	1,040
25	乾 善彦	科学研究費補助金基盤研究(C)	表記体と文体からみた変体漢文と和漢混淆文との連続性の研究	910
25	入子文子 (非常勤研究員)	科学研究費補助金基盤研究(C)	『緋文字』にみるカトリシズムー17世紀の大西洋を貫くキリスト教と文化の諸相	1,690
25	菅原 慶乃	科学研究費補助金若手研究(B)	民国期上海における映画の社会的役割に関する総合研究ー「通俗」から「政治」への過程	780
25	氷野善寛(PD)	科学研究費補助金若手研究(B)	通時的中国語基盤語彙データベースの構築と語彙教育に関する研究	1,560
25	藤田 高夫	科学研究費補助金挑戦的萌芽研究	中国古代における軍事費計量化の試み	650
25	野間 晴雄	科学研究費補助金挑戦的萌芽研究	英国人プラントハンターの探査と商業主義の相克ー植物をめぐる文化交渉学の構築ー	1,300
25	森部 豊	科学研究費補助金挑戦的萌芽研究	「農業・牧畜境界地帯」から構築する新しいユーラシア史像の試み	1,430
25	毛利英介 (非常勤研究員)	科学研究費補助金研究活動スタート支援	石刻史料による遼代漢人徒民の研究	1,300
26	二階堂 善弘	科学研究費補助金基盤研究(B)	情報化時代における中国学次世代研究基盤の確立	2,600
26	長谷部 剛	科学研究費補助金基盤研究(B)	隋唐楽府文学の総合的研究	3,900
26	竹内 洋 (客員研究員)	科学研究費補助金基盤研究(B)	日本型公共知識人の成立と変容	1,300
26	野間 晴雄	科学研究費補助金基盤研究(B)	黒潮の道ーその地域学的比較研究	3,900
26	中谷 伸生	科学研究費補助金基盤研究(C)	耳鳥齋の戯画と近代漫画の比較研究ーアニメーションの源流としての江戸時代の戯画ー	1,040
26	乾 善彦	科学研究費補助金基盤研究(C)	表記体と文体からみた変体漢文と和漢混淆文との連続性の研究	1,300
26	入子文子 (非常勤研究員)	科学研究費補助金基盤研究(C)	『緋文字』にみるカトリシズムー17世紀の大西洋を貫くキリスト教と文化の諸相	1,300
26	影山 悦子 (非常勤研究員)	科学研究費補助金基盤研究(C)	法隆寺・東大寺宝物に見られる「イラン文化」:エフタルとソグドの影響について	910
26	氷野善寛(PD)	科学研究費補助金若手研究(B)	通時的中国語基盤語彙データベースの構築と語彙教育に関する研究	910

年度	氏名	種別	課題	合計額 (千円)
26	桑野 梓 (非常勤研究員)	科学研究費補助金若手研究(B)	近世彫刻史における黄檗彫刻と中国明末清初彫刻の研究	1,170
26	菅原 慶乃	科学研究費補助金若手研究(B)	民国期上海における映画の社会的役割に関する総合研究 -「通俗」から「政治」への過程	780
26	森部 豊	科学研究費補助金挑戦的萌芽研究	「農業・牧畜境界地帯」から構築する新しいユーラシア史像 の試み	780
26	藤田 高夫	科学研究費補助金挑戦的萌芽研究	中国古代における軍事費計量化の試み	650
27	二階堂 善弘	科学研究費補助金基盤研究(B)	情報化時代における中国学次世代研究基盤の確立	3,900
27	野間 晴雄	科学研究費補助金基盤研究(B)	黒潮の道-その地域学的比較研究	3,770
27	長谷部 剛	科学研究費補助金基盤研究(B)	隋唐燕楽歌辞の文字的・音楽的アプローチによる双方向的 研究	2,340
27	入子文子 (非常勤研究員)	科学研究費補助金基盤研究(C)	『緋文字』にみるカトリシズム-17世紀の大西洋を貫くキリスト 教と文化の諸相	1,430
27	影山 悦子 (非常勤研究員)	科学研究費補助金基盤研究(C)	法隆寺・東大寺宝物に見られる「イラン文化」:エフタルとソグ ドの影響について	1,040
27	井上 泰山	科学研究費補助金基盤研究(C)	スペイン・エスコリアル修道院図書館に残る中国古典文献の 学術的価値に関する研究	1,690
27	沈 国威	科学研究費補助金基盤研究(C)	現代中国語への道程・語彙二字語化における外部誘因、特 に日本語の影響に関する研究	1,430
27	内田 慶市	科学研究費補助金基盤研究(C)	モリソン『神天聖書』を中心とした漢訳聖書の系譜とその文体 論的研究	2,080
27	西本 昌弘	科学研究費補助金基盤研究(C)	古代難波地域像の再構築-近世絵図資料と中世史料の検 討を通して-	910
27	陶 徳民	科学研究費補助金基盤研究(C)	近代日本におけるリンカーン受容の研究-新聞雑誌・公文 書・伝記・教科書などを素材に	1,690
27	竹内 洋 (客員研究員)	科学研究費補助金基盤研究(C)	近代日本における「治者の教養」の再構築課程の歴史社会 学的分析	1,560
27	桑野 梓 (非常勤研究員)	科学研究費補助金若手研究(B)	近世彫刻史における黄檗彫刻と中国明末清初彫刻の研究	1,170
27	菅原 慶乃	科学研究費補助金若手研究(B)	民国期上海における映画の社会的役割に関する総合研究 -「通俗」から「政治」への過程	650
27	毛利英介 (非常勤研究員)	科学研究費補助金若手研究(B)	新史料による金・南宋間を中心とした10~13世紀東アジアの 外交使節に関する研究	780
27	藤田 高夫	科学研究費補助金挑戦的萌芽研究	中国古代における軍事費計量化の試み	650

【受託研究】

24	二階堂 善弘	独立行政法人日本学術振興会	中国哲学分野に関する学術研究動向調査研究	1,870
25	二階堂 善弘	独立行政法人日本学術振興会	中国哲学分野に関する学術研究動向調査研究	1,560
26	二階堂 善弘	独立行政法人日本学術振興会	中国哲学・印度哲学・仏教学分野にかかる学術研究動向に 関する調査研究	1,560

【財団法人】

25	松井幸一(PD)	クリスタ水・環境科学振興財団	沖縄県中部における湧水の空間的復原と水文化継承に関 する研究	300
26	中谷 伸生	メトロポリタン東洋美術研究センター	室町時代から江戸時代前期におけるやまと絵研究-源豊宗 「秋草の美学」を踏まえて-	250

学内広報誌掲載記事

◆ 関西大学ニュースレターReed (No. 26 September, 2011)

Reed
Man is a Thinking Reed.

No. 26
September, 2011

関西大学ニュースレター
発行日：2011年(平成23年)9月12日
発行：関西大学 広報室広報課
大阪府吹田市山手町13-3-35
〒564-8680 / TEL. 06-6368-1121
<http://www.kansai-u.ac.jp/>

KANSAI UNIVERSITY NEWSLETTER

THINK × ACT
KANSAI UNIVERSITY

マラソンは街を元気にする新しい「祭り」

関西大学が「第1回大阪マラソン」に協賛

■対談
七條 昌一 補見 晴重
大阪マラソン組織委員会 事務局長 学長
大阪陸上競技協会顧問

■リーダーズ・ナウ ー5
在学生 体育会陸上競技部
社会学部4年次生 松本 真由子さん
卒業生 「エンビツ工房」真島事務所
株式会社イクサミナ 代表主幹
真島 弘さん

■研究最前線
現場の「感覚」を活かすスポーツ科学の研究
頭で理解して、感覚で実践する ー7
人間健康学部 小田 伸午 教授
インタラクションデザインの研究
機能と使いやすさを両立させる ー9
総合情報学部 松下 光範 教授

■トピックス【学内情報】 ー11
東日本大震災に関する関西大学の取り組み
経済的支援を継続、ボランティア活動を展開
文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業
2件の研究が採択、全国第1位の実績

■社会貢献・連携事業 / 地域連携 ー13
第1回キャンパス祭を開催
「スポーツ」福祉」を学ぶキャンパスで地域交流
「Hop Step Jump!! ～みんなを笑顔に～」

第4回関西大学「氷の甲子園」を開催
ジュニアフィギュアスケート演技会
トップスターエキシビション
「高橋大輔・織田信成先輩に続け！」
奈良県葛城市と連携協力に関する協定を締結

■関大ニュース ー15
英語指導力開発ワークショップを実施 ほか

2件の研究が採択、全国第1位の実績

- 「東アジア文化資料のアーカイブズ構築と活用の研究拠点形成」
- 「集合住宅“団地”の再編(再生・更新)手法に関する技術開発研究」

文部科学省平成23年度私立大学戦略的研究基盤形成支援事業に、関西大学が申請した2件の研究プロジェクト「東アジア文化資料のアーカイブズ構築と活用の研究拠点形成」、「集合住宅“団地”の再編(再生・更新)手法に関する技術開発研究」が採択された。平成20年から始まったこの支援事業において、本学が選定を受けたのは14件となり、全国第1位の実績を誇る。

文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業は、各大学の経営戦略や研究戦略に基づいて行う研究基盤の形成を、国が競争的資金によって支援するものである。最先端の研究装置や設備の整備費と5年間にわたる研究費が補助され、わが国の科学技術の進展に大きく寄与することが期待されている。

今年度は、全国の採択率が38.4%(過去最低の率)にとどまり、関関同立のなかでは関西大学の2件のプロジェクトのみが採択された。この結果は本学の研究水準の高さを示すものといえる。



東アジア文化資料のアーカイブズ構築と活用の研究拠点形成

研究組織名：アジア文化研究センター

研究代表者：松浦 章 東西学術研究所所長・文学部教授

東西学術研究所を中心に蓄積されてきた本学の東アジア文化研究の卓越性は、平成19年度グローバルCOEプログラムに採択されたことが示すように、内外から高い評価を得てきた。今回のプロジェクトは、関西大学図書館などに本学が所蔵する資料をコアとして、近代前半までの東アジア文化研究のための多種多様な学術リソースをデジタル化し、その資料的性格の検討・解明の成果を「解題」として刊行したうえで、国内外の研究者に広く開かれたアーカイブズとして構築・公開することを目的としている。

本学所蔵のアジア関係資料には、内藤文庫(内藤湖南)・増田文庫(増田渉)・長澤文庫(長澤規矩也)などの特色ある個人文庫に加え、大坂の漢学塾泊園書院の蔵書を取めた泊園文庫をはじめとする大坂の学術や絵画関係資料、日中交渉史関係史料などの豊かなコレクションがある。書簡や手稿本など未公開資料も多く含まれ、いまだ資料の全貌が把握されていないものがあり、写本などにはその脆弱性から公開できないものもある。本研究では、まずこれらをデジタル化し、全内容を俯瞰できる形でアーカイブズ化して公開する。また、零細なものも含めた性格の異なる資料群を種々取り上げて、多様な資料のアーカイブズ化の指標となるモデルを提示することを目指す。

急速にデジタル化の進行する今日の人文学において、新しい資料研究の方法論を構築し提示すること、それが本研究の目指す最終的な目的である。

集合住宅“団地”の再編(再生・更新)手法に関する技術開発研究

研究組織名：地域再生センター

研究代表者：江川直樹 先端科学技術推進機構地域再生センター長
・環境都市工学部教授

わが国の人口拡大・都市化の時代に大量に建設された集合住宅団地は、住宅の老朽化や設備の陳腐化などの物理的な問題のみならず、高齢化率の上昇やコミュニティの弱体化などの社会的問題をも抱えている。しかし、大量のストックがあり、資金面の問題等から建て替えは困難で、その多くがストック活用による再生が目ざされている。その数は膨大で、旧公団賃貸住宅77万戸のうち57万戸がストック活用(建物の大規模改修などの)対象とされており、同様の事情を抱える公営住宅の総数は220万戸にものぼる。

本研究の目的は、事業主体が造りやすく管理しやすい画一的な空間構成となっている集合住宅団地を、住宅等のストックの活用を図りつつ、住民が守り育て自立的に更新していけるような“まち”に再編する技術を開発し実践に活かすことにある。

団地再編の技術は、団地建設の技術とは全く異なる技術であり、団地再編が社会的に重要な課題となっているにもかかわらず、わが国のそれを担うべき体制は欧米諸国に比して弱体である。団地再編の指針およびそのシステムの総合的な検討を主導する主体が、残念ながら存在しない。本研究では、団地再編の総合的な課題を、「空間」「コミュニティ」「公共政策・マネジメント」の三分野から検討し、それらをいかに実践的に総合化させるかという視点から進める。

団地再編は、住民の参画を得て地域の民間活力を導入しつつ遂行されるべき“まちづくり”であり、地域再生・活性化にも貢献する。